

テーマ：「商店街をゆっくり巡る今昔すごろく ～新たな発見！入善のいまとむかし～」

実施機関名：入善町商工会

### 背景と課題

入善町中心市街地に位置する3商店街（銀座、中町、二十四軒町）は大変コンパクトなエリアで形成され、金融機関、公共交通、交流施設「うるおい館」等の生活関連機能が充実していることで来街者は多い。

また、3商店街ではキラリと光る魅力的な店舗が点在しているものの、その割に来街者が商店街で買い物をする割合が少ない。その一因としては、お店の存在は知ってはいても、実際に入店するまでに至らず、なかなかその魅力等に気付いてもらえないという課題を抱えている。

一方、これまで3商店街では、主に入善町商工会が実施する中心市街地活性化事業（七夕まつり（8月）、まつりんぴっく（10月）、ラーメンまつり（2月））等に連動し、各お店がセールやイベント等を実施してきた。しかし、当日のイベント会場周辺は大いに賑わいを見せるものの、肝となる商店街の店舗に立ち寄るなど、商店街活性化に波及効果が少なく、商工会・3商店街では新たな手法での商店街活性化事業を模索していた。この様な中で、課題の解消が期待できる「商店街すごろくゲーム」と出会い実施を目指した。

### 活用資源

- ・「入善弁」  
特に若いファミリー世代では使われることが少なくなった、埋もれている方言や地域の歴史等の魅力を活用。
- ・「ヒト」  
人情味に溢れる店主が多い商店街、キレイなお店が多い商店街の強みを活かす。
- ・「街並み」  
清潔でコンパクトな商店街の強みを活かす。

### 目標

1. 中心市街地及び商店街・お店の魅力などの認知度向上
2. 商店街の組織強化、意識改革

### 特徴

「商店街すごろく」は、近年全国で商店街活性化の一手法として取り組む例が増えているが、遊びの要素や個店のPRなどに重点を置いた内容が多い。本事業では、地域の歴史や風土等に注目して、「入善町」の地域にスポットを当て、言葉や街並みなどを今昔で対比することで、地域や商店街の魅力としてわかりやすく発信した。

### 解決の筋道、スキーム、実行内容

- ・商店街活性化を図るための主要ターゲット = 若いファミリー世代  
⇒ 全国的に活性化の事例として成果をあげている「商店街すごろくゲーム」に注目し、入善町中心商店街の魅力を活用して実施する入善版「商店街すごろくゲーム」にトライアルする。
- ・入善町中心商店街の魅力をわかりやすく伝えるための工夫  
⇒ 入善弁をリストアップし、「入善弁カード」としてクイズを作成。  
当地域で埋もれている魅力 = 「入善弁」「ヒト」「街並み」の三要素について「昔と今」を比較する内容をイベントに盛り込んだ。
- ・実施日：平成27年12月19日（日）  
⇒ 若いファミリー世代を中心に、57チーム112名が参加。  
入善版「商店街すごろくゲーム」で商店街を散策しながら、これまで見過ごしていた地元商店街のお店の魅力を体験。  
⇒ 店主が先生役となり、子供たちや若者層にとっては未知の魅力を、年配の方々にとっては懐かしい魅力を再認識。  
⇒ ただ単にゲームをして終わるのではなく、「入善弁」を話題とした店主との会話など、滞在時間を長くするとともにお店の魅力として発信。

### 結果

（お客様アンケート結果）  
 来店されたお店で印象に残ったお店はありましたか？ **82.5%**

（その理由）  
 ・お店の雰囲気良かった **51.1%**  
 ・店員さんの感じが良かった **48.9%**

### 新たな課題、今後の発展

1. まずは、事業を継続・発展させていくため、PDCAを着実に回すこと。（実施内容や時期、予算等の見直し）
2. 来街者を来店者にする新たな魅力づくり（繁盛店化、創業支援）
3. 若手商店街リーダーの育成